

先生各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたので、ご案内申し上げます。今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

《受託開始日》 平成 14 年 8 月 5 日 (月) 受付分より

### 《検査要項》

検査項目名称	コレステロールエステル転送蛋白 (CETP)
検査コード	5489
検体量	血清 0.2 ml
保存条件	必凍
採取容器	A 1
実施料 (判断料)	なし
所要日数	5 ~ 11 日
検査方法	ELISA法
基準値	(参考値) 男性 0.8 ~ 3.0 $\mu\text{g}/\text{ml}$ 女性 1.5 ~ 3.4 $\mu\text{g}/\text{ml}$

### 【臨床的意義】

コレステロールエステル転送蛋白 (CETP) は脂質転送蛋白の一つで、末梢組織から引き抜かれて HDL 中に蓄えられているコレステロールエステルと VLDL、LDL の中性脂肪とを交換する働きを持っており、LCAT や HTGL などの酵素とともにコレステロールの末梢から肝臓への逆転送系の一翼を担っています。

臨床的には、遺伝的に CETP を欠損し高 HDL コレステロール血症を示す CETP 欠損症が重要です (関連検査: CETP Ex15 [検査コード 2615]、CETP In14 [検査コード 2614])。また、多量飲酒者に認められる高 HDL コレステロール血症は、CETP の低下に起因すると考えられています。